



在マレーシア日本国大使館付属ジョホール日本人学校

学校便り Respect



令和3年9月1日

No. 6

令和3(2021)年度 2学期始業式 校長あいさつ

校長 川口 浩

みなさん、おはようございます。

いよいよ、2学期がスタートしました。元気な皆さんと、1か月ぶりに再会できたことをうれしく思います。

さて、この1か月間、皆さんはどのように過ごしましたか。私は、2のことに挑戦しました。

1つ目は、1学期の終業式の日、私が、皆さんに話したことに關しての挑戦です。私がどんなことを話したか、覚えていますか？

『夏休み期間中、SDGsに關して、自分でできることを1つ決めて、実行しましょう。先生も、何か1つ決めて実行します。』

というお話をしました。皆さんが何を頑張ったのかは、オンラインなので、発表してもらうことはできませんが、何かに挑戦できたでしょうか？

私は、皆さんとの約束を守るために、1つ決めて取り組みました。それは、必要のない電気を使わないということです。自分がない場所の電気やエアコンは、必ず消すようにしました。電気代を比べてみると、1番使った月の、半分以下の金額になっており、びっくりしました。そのことを通して、電気だけでなく、自分の普段の生活全体に關しても、無駄がないか見直すようになりました。もちろん、私1人が努力しても地球全体への影響は、わずかですが、1人でも多くの方が、努力を重ねれば、その効果はとても大きなものになります。皆さんも是非『自分1人がやったって・・・』という気持ちを捨てて、できることに取り組みましょう。そのことは、確実に地球全体を良くすることにつながっています。



この夏、私が挑戦した2つ目のことは、オンラインを利用して、しっかりと勉強するということです。新型コロナウイルスが広まってから、今までその会場に行かないと参加できなかった催しに、世界中どこにいても自分のいる場所から、オンラインで参加できるようになりました。家から外に出る活動は難しかったのですが、オンラインで、日本やアメリカ、フランスにいる人たちの様々なお話を、20回以上聞くことができました。特に、SDGsに關してお話を聞く機会が多かったのですが、そこで必ずと言っていいほど出てきた言葉を紹介します。それは、

「だれも置き去りにしない。」(Leave No One Behind)

という言葉です。なぜ、この言葉が大切なのかというと、今まで人類は、多くの人たちを置き去りにしてきたからです。“人を置き去りにするということ”つまり自分のために、他の人はどうなってもいい、という考えは、なぜダメなのでしょう。

もちろん、置き去りにされた人々がかわいそうだということもあります。それと同時に、人を置き去りにしてきた結果、自分も幸せにはなれなかった。このことに、やっと人類が気付いたのです。たとえば、自分の会社がお金もうけをしたいために、どんどん汚れた煙や水をたれ流した結果、地球全体が汚れて、だれも住めなくなったら、いくらお金がもうかっても、意味はないですね。周りを良くしないと、自分も良くなれないということなのです。これからは、自分が生きていくうえで、今、自分がやろうとしていることは、自分もまわりも良くすることなのだろうか？という基準を持たなくてはならない時代なのです。これが、人類が、多くの犠牲を払って歴史から学んだことなのです。

もう1つ、この夏に先生が勉強した中で心に残っていることをお伝えします。それは、新型コロナウイルスのため外に出ることができず、自宅で働いたり授業を受けていることに關してです。ある方は、

「今、つらい状況の中、家で仕事や授業に取り組むことは、人類が新型コロナウイルスに負けなかったという証を残しているのです。身体的には、ワクチンや特効薬が病気に勝利するための物ですが、精神的には、行動が制限される中で、精神的につらい状況に負けず、やるべきことを続けることが、新型コロナウイルスに、我々が勝利した証になるのです。」

このようにお話していました。まだしばらく、オンライン授業が続きます。今が、人類にとって勝負所かもしれせん。皆さんも、1時間1時間の授業をしっかりと受けることが、自分自身の勝利の歴史を作っているのだとの自覚をもって、2学期をスタートしてください。そのことは、これからの皆さんの人生にとって、必ず、大きな財産となります。

◎ 保護者の皆様へ

- 1 2学期がスタートいたしました。マレーシア、ジョホールの感染状況が依然厳しい状態であり、教育省からの指示で、現時点ではオンラン授業継続となっております。今後状況に変化がございましたら、メール等でお知らせいたします。
- 2 夏休み後半に、お子様方のオンライン授業の受講に関しましてお知らせを差し上げました。学校としても必要な場面では、指導いたしますが、保護者の皆さまのご理解ご協力も引き続きよろしくお願いいたします。
- 3 オンラン授業継続のため、学校行事等に関しましてはその実施が難しい状況が継続しております。こちらも教育省等と連携を取りつつ、その都度ご連絡を差し上げます。
- 4 現時点では、次回の教材配布は9月10日(金)16:30を予定しております。変更等ある場合は、後日ご連絡いたします。

◎ 通学バス運営委員会より

通学バス運営委員会の皆様のご尽力によりまして、バス会社の変更に伴っての新しい利用の手引き等が完成いたしました。先日より、学校ホームページに掲載されております。現在、通学バスをご利用のご家庭に関しまして、手続等で変更があった部分もございます。ぜひご一読いただきまして、新規バス会社への移行が円滑に進みますようお願いいたします。なお、登校再開に合わせての試乗会に関しましては、その実施の有無も含めましてバス会社とバス運営委員会で協議し、今後、ご連絡を差し上げる予定です。

※ 学校ホームページの、この部分をクリックしてください。



The image shows a screenshot of the Japanese School (Johor) website. At the top, there is a banner with the text "Welcome! Japanese School (Johor)" and a photo of the school building. Below the banner, there are three main sections: "新バス利用の学習者(保護者)", "学校の様子", and "保護者の皆様へ". A red arrow points from the text above to a link in the "通学バスの様子" section. The link text is "9月10日の新しいバス会社にて通学バスを運営いたします。詳しくは以下の内容をご覧ください。". Below the link, there is a photo of a yellow school bus and some text. The "保護者の皆様へ" section contains information about the school's status and a list of students.